



報道機関 各位

記者発表資料

令和2年1月10日（金）

問い合わせ先：消防局警防部警防課

課長：内田

担当：河内、藤間

電話：833-7944

内線：5511

令和元年度緊急消防援助隊埼玉県大隊合同訓練について
～埼玉県内全27消防本部が大規模災害を想定し宿営訓練を実施します～

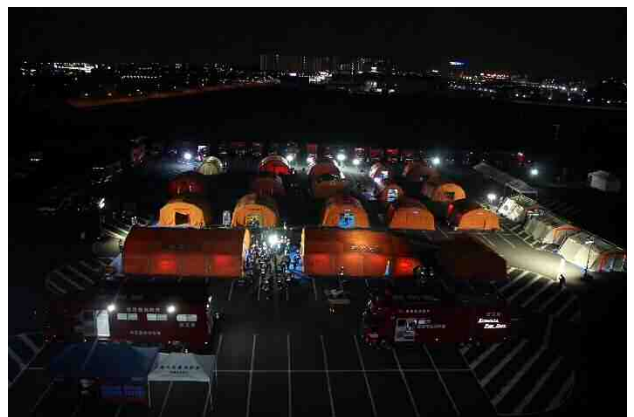
令和元年は全国各地で震度5以上の地震が発生したほか、九州北部豪雨や台風第15・19号といった大雨、暴風等による甚大な被害が発生しました。

これら大規模災害が発生した際、消防の広域応援体制は、都道府県を1単位とし緊急消防援助隊として出動します。その部隊が長期的に活動できるよう、本訓練では「後方支援中隊の基盤強化」「女性活躍推進」「受援機能の検証」「情報伝達の迅速化」の4つの柱を軸（目的）に、県内全27消防本部から166名の消防職員が参加し、1泊2日の宿営訓練を実施します。

- 1 日 程 令和2年1月28日（火）12時30分から（1泊野営）
令和2年1月29日（水） 8時30分まで
- 2 場 所 戸田競艇場（戸田市戸田公園8-22）
- 3 内 容 活動拠点設営訓練（テント設営訓練・給食訓練・宿営訓練）
講義（緊急消防援助隊について・女性活躍推進・災害事例・後方支援）
- 4 参加機関 埼玉県内全消防本部（27本部）
男性98名・女性68名 合計166名（令和元年12月1日現在）
- 5 その他
 - (1) 訓練会場には、見学スペースを設け見学可能時間を設けています。
1月28日（火）13時20分～22時00分
1月29日（水） 7時00分～終了まで
 - (2) 取材については、事前に担当までご連絡ください。



東日本大震災（岩手県陸前高田市）における宿営の様子



昨年2月に実施した訓練の様子（左：給食訓練・右：宿営訓練）

※ 緊急消防援助隊は、大規模災害等において被災した都道府県内の消防力では対応が困難な場合に、人命救助活動等を効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、阪神淡路大震災の教訓を踏まえ、平成7年6月に創設されました。